

そうだ、  
きさいち  
植物園  
に行こう！

Let's go to Kisaichi  
Botanical Garden

## 牧野富太郎の植物図から

約1500種以上の植物を発見・命名し、「日本の植物分類学の父」と呼ばれる<sup>まきのとみたろう</sup>牧野富太郎博士。現在放映中のドラマの主人公のモデルであり、鋭い洞察力と緻密な描写で植物を正確に写生しています。今年度は、博士の描いた植物図と当園に咲く実物を見比べてみます。



### ウメバチソウ

分類: ユキノシタ科ウメバチソウ属  
夏期: 8月～10月

日本全土の山地や高山帯の日当たりが良い湿った草原に自生し、茎先に1輪の白い花を咲かせる。花の中心部には5本の雄しべがあり、先端が玉のような仮雄しべが雄しべの隣に扇状につく。地表に近い葉のほか、茎の中部に茎を抱くように柄のないハート型の葉が、1個つく。花の形が梅鉢紋に似ているところから和名がつけられたと言われる。



牧野富太郎肖像画・植物図: 高知県立牧野植物園提供

### イベント情報

- 9/1(金)～2(土) 夜間特別開園
- 9/2(土) 夜咲き熱帯スイレン観察会
- 9/2(土) 熱帯植物観察会
- 9/15(金) 樹林型観察会

詳細は当園ホームページをご覧ください。

### 大阪公立大学附属植物園(愛称: きさいち植物園)

☎891-2059 交野市私市2000(私市駅徒歩6分) HP <https://www.omu.ac.jp/bg/>

開園時間 9:30～16:30(入園は16:00まで)

休園日 月曜日(祝休日の場合は開園)

入園料 大人350円/大阪府在住で65歳以上の人150円(住所と年齢が分かる公的証明書提示が必要)中学生以下無料

駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



LET'S GO

## 交野に残る 家康の足跡



おだのぶなが とよとのおひでよし  
織田信長、豊臣秀吉と並ぶ三英傑  
の1人、徳川家康。交野市は家康の  
人生に度々かかわっており、今も史跡  
が残っています。家康ゆかりの地ととも  
に交野市とのつながりを紹介します。

### 大坂冬の陣 決着がつかず講和を結ぶ

慶長19年(1614)10月の初め、豊臣軍10万、徳川軍20万が大坂城で衝突しました。兵数の差にもかかわらず、大坂城の守りは堅く<sup>さなだのぶしげ ゆきむら</sup>真田信繁(幸村)の活躍もあって決着はつかず、講和が結ばれることになりました。

講和の条件として、徳川方は大坂城の守りの要である堀の多くを埋めさせています。なお、大阪府警本部建設時の発掘調査等でこのときの堀の一部が約400年ぶりにその姿を現しました。この調査成果は市立教育文化会館で展示しています。



発掘調査された豊臣大坂城の堀  
写真提供: (公財)大阪府文化財センター

### 大坂夏の陣 市橋長勝の星田防衛

慶長20年(1615)4月から再び両陣営の対立は深まり、戦国時代最後の戦いともいわれる大坂夏の陣へと至りました。大坂城を外堀から埋められていた豊臣方は、周辺の寺社等に協力を要請し、逆らった寺社や村々を焼き払い徳川方の進軍を阻みました。交野でも徳川軍の主要な進軍ルートの一つとなる東高野街道沿いの郡津・私部・倉治が大きな被害を受けました。

また、私市の獅子窟寺は多くの僧兵を抱える広大な寺院でしたが、豊臣方の<sup>おおのはるなが</sup>大野治長の協力要請を断ったために火を放たれ全山を焼失しました。本尊の薬師如来坐像(国宝)は、僧侶が背負い避難したものの、両手を欠損したと伝わっています。

徳川軍の中で存在感を発揮したのが<sup>いちしながかつ</sup>市橋長勝でした。自らの領地であった星田を家康の陣とすることを献言し、いち早く守りを固めました。東高野街道沿いの村々が被害を受ける中で星田は戦火を免れ、長勝は家康一行を迎える準備を整えました。



国宝獅子窟寺薬師如来坐像